公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

「医療安全を学びほぐす」

まなびほぐしとは、すでに学んだ知識や価値観を意識的に捨て去り、再び学び直すことです

医療安全マスター養成プログラム Day1・Day2 ［第12期］ 開催案内

本研修では、今まさに医療安全に熱意をもって取り組んでおられる方が、
実践の質をさらに高めるための考え方やのヒントを提供します。
各分野の第一線の講師による講義ややり取りに加え、リフレクションの時間も積極的に設け、
理解を深めながら、明日からの業務にすぐお役立ていただけます。
インターネットや動画を活用し、忙しい方にも無理なくご参加いただけます。　ぜひご受講ください！

日 程

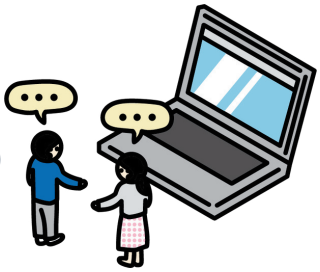
【Zoomライブ配信】　4日程ご参加ください

2025年　11月　28日(金) 15～17時
12月　19日(金) 15～17時
2026年　1月　9日(金) 15～17時
1月　18日(日) 13～17時

※これまで、Day1・Day2として2日間で開催していたプログラムを、4回に分け開催することとなりました。

形 式

・上記日程での、Zoomを使ったライブ配信
・他、e-learningによる動画視聴（一部科目）



講 師

（敬称略・五十音順）

筧 淳夫　(工学院大学建築学部 教授)
荒神 裕之　(山梨大学大学院総合研究部医学域 医療安全学講座 教授)
瀧本 禎之　(神戸大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 教授)
田中 健次　(国立大学法人電気通信大学 名誉教授
産学官連携センター 特任教授（副センター長）)
中島 和江　(大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
教授・部長、病院長補佐／大阪大学 総長補佐)
橋本 廸生　(日本医療機能評価機構 常務理事)
長谷川 剛　(泉大津急性期メディカルセンター
クオリティ管理センター センター長)
［調整中］　(弁護士)

費 用

○ 病院機能評価認定病院、
又は受審申込済みの病院にご所属の方　66,000円（税込）
○ 上記以外の医療機関にご所属の方　88,000円（税込）
※ 一旦お振込いただいた費用は原則としてご返金いたしかねます。

定 員

50名程度

【お問い合わせ】（公財）日本医療機能評価機構 教育研修事業部［川崎］ TEL：03-5217-2373

科 目　オーガナイザー：長谷川 剛

□　事前動画視聴＋当日質疑応答
◆　当日ライブ講義＋質疑応答

❶　予防的安全管理

開催日	科目・テーマ	講師（敬称略）
11/28(金)	◆　医療の安全とは	橋本 廸生
	□　医療安全･患者安全に通底するもの	田中 健次
12/19(金)	◆　施設・環境・設備のマネジメント	筧 淳夫
1/ 9(金)	◆　医療チームや組織等へのレジリエンスの実装	中島 和江

❷　リスクが顕在化した後の安全管理

開催日	科目・テーマ	講師（敬称略）
1/18(日)	□　予期せぬ有害事象への具体的対応 ～医療メディエーションと価値共創～	荒神 裕之
	□　予期せぬ有害事象への具体的対応 ～臨床倫理の観点から～	瀧本 禎之
	□　予期せぬ有害事象への具体的対応 ～法的観点から～	（弁護士）
	◆　パネルディスカッション： 予期せぬ有害事象への具体的対応	荒神・瀧本 他
	◆　2日間の振り返り	

講義の一部は、事前動画として
繰り返しご視聴いただけます

申 込　対象・詳細等をご確認の上、Webよりお申し込みください

URLもしくは左記QRコードから
https://jq-edu.jcqhc.or.jp/program/sm/

医療安全マスター養成プログラムとは...

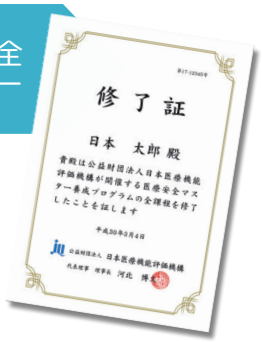
Day1 Day2
- これまでの経験を省察する機会を提供します
- 重要な視点や考え方を学びます

継続研修 Day3・Day4
- グループワークを通じて抽象的な概念を、具体的な実践につなぎます
- 学んだことを自分の言葉で伝える訓練をします

医療安全マスター養成プログラム修了

Day1・Day2と継続研修(Day3・Day4)、4日間のプログラムを修了された方に修了証を発行します

医療安全マスター



医療安全に関わる皆様の日々の業務のブラッシュアップと、
継続的な学びを支援を目的とした、評価機構が提案する研修の体系です

※科目・タイトル名や進行順等、ライブ配信当日のプログラムは変更となる可能性もございます。予めご容赦ください。